

オリジナルミュージアムグッズの製作販売

岐阜県立森林文化アカデミーものづくり講座において、地域材を使用した当館のオリジナルクラフトグッズが完成しました。

この材は、2012年の夏、当館の森への落雷により一度は生命を絶たれたヒノキです。この度、岐阜県立森林文化アカデミーの学生たちの手によって、再びクラフトグッズとして生まれ変わりました。自然からのやさしい温もりを手にとってお楽しみください。



カニサイステーショナリーシリーズ

左から ペンホルダー、カードスタンド
マスキングテープカッター

常設展示室に展示しているカニサイを
デザインにしています。

■オリジナルグッズ製作の過程



2013. 7. 3 伐採作業 年輪から樹齢180年ほど経っていたと思われます。



このヒノキは、2013年に開催した 平川祐樹展「眠りにつくまで」の映像作品にも使用されました。



岐阜県立森林文化アカデミー工房にて製材を行う過程で、40年程前の年輪辺りに散弾銃の鉛弾が撃ち込まれているのを確認。当時、太郎洞池にいる鴨の猟が行われていたことから、その時の弾痕と思われます。



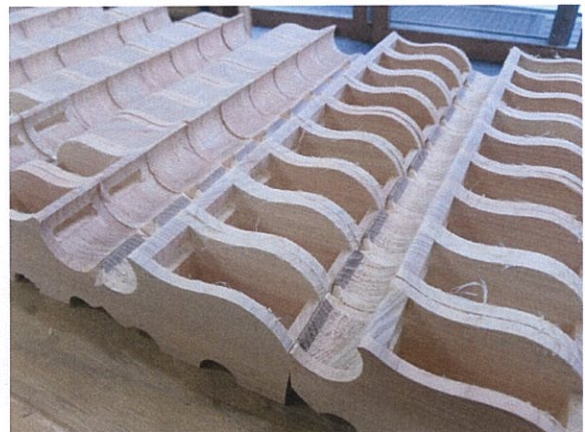
2014. 6. 13 クライアントプレゼンと施設見学



7. 11 デザインプレゼン
投票により「カニサイステーションナリ-シリーズ」に決定



8. 23～ グッズ生産開始



デザインプレゼンにおいて採用されなかったデザインについても、当館の要望に応え制作していただきました。

左奥 太郎洞池カードスタンド
文化の森の西にある太郎洞池を立体にしたデザインです。

右手前 ブックマーカー
カニサイの足跡をモチーフにしています。



岐阜県立森林文化アカデミーは、森林を多面的に活用し、新たな森林文化の創造に寄与できる人材を育成する2年生の専修学校です。各講座のひとつである「ものづくり講座」は、地域の森から出る材料を生かして、地域の暮らしをよりよくするための木の製品の企画・デザインや製作を行い、「森とものをつなぐ」活動を展開できる人材を育てています。